

# 2024年度 環境経営レポート

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日



“すべては安心と楽しさのために”



〈東京・山梨スバルグループ〉

東京地区：東京スバル株式会社

山梨地区：山梨スバル自動車株式会社

発行日：2025年8月31日  
改定日：2026年1月4日

# 目次

1. 組織の概要	.....	3
2. 対象範囲（事業所一覧・推進体制・役割・責任及び権限）	.....	5
3. 環境経営方針	.....	8
4. 環境経営目標（中期計画、環境負荷の実績状況）	.....	9
5. 環境経営計画の取組内容、行動評価	.....	11
6. 環境経営計画の取組結果、次年度の取組内容	.....	12
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、	.....	13
8. 経営における課題とチャンス、代表者による全体の評価と見直し	.....	14
9. 一つのいのちプロジェクトのご紹介	.....	15

## 東京・山梨スバルグループは、2030年に向けた「持続可能な未来」への開発目標SDGs（Sustainable Development Goals）の達成に貢献していきます。

### 東京スバルSDGs宣言



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

東京スバルは、SUBARU車の販売とサービス業務を通じて企業としての社会的責任を果たし、社会から信頼される企業として「選ばれ続ける会社」を目指します。ステークホルダーであるお客様・従業員・地域社会に対して「東京スバルCSR重点6項目」の取り組みを推進し、ありたい姿を明確にすることで、2030年に向けた「持続可能な未来」への開発目標SDGs（Sustainable Development Goals）の達成に貢献していきます。

#### 東京スバルCSR重点6項目



#### 東京スバルホームページ

URL <https://www.tokyo-subaru.co.jp/>

#### 山梨スバルホームページ

URL <https://www.yamanashi-subaru.co.jp/>

### 山梨スバル自動車SDGs宣言



### 山梨スバル SDGs 宣言

私たち山梨スバルは、SUBARU車の販売・アフターサービスなどの事業活動を通じて、お客様に「安心と楽しさ」のあるカーライフを提供することで皆様から信頼される企業となります。また、従業員及び従業員の家族の方からも愛され続ける企業を目指すことで持続可能な社会の実現に向け努めてまいります。

#### 重点取組項目

1. SUBARU先進技術と歩む未来  
(2030年交通死亡事故ゼロ)



2. 地球を守るための環境保全活動  
(エコアクション21)



3. 働く環境・人材育成・あらゆるステークホルダーとの関係を強化するスバル認定資格取得者の増加  
(高品質な物やサービスの安定供給)



山梨スバル自動車株式会社

# 1. 組織の概要

## [東京地区]

会社名 東京スバル株式会社

所在地 東京都文京区本郷 2 - 1 3 - 1 1

代表者氏名 宮澤 和彦

設立日 1999年10月1日

事業内容 1. 自動車の販売

2. 中古自動車の販売

3. 前各号に関する部品・用品の販売および修理

4. 自動車の修理

5. 損害保険代理業および自動車損害賠償保険代理業



事業規模・売上高	69,993百万円	(2024年度)
・新車販売台数	12,378台	(2024年度)
・中古車販売台数	9,676台	(2024年度)
・従業員数(派遣・パート等含む)	1,079名	(2025年3月現在)
・店舗数	新車直販：32 中古車直販：6 BPファクトリー：3 重整備センター：1	新車業販：4 中古車業販：1 パーツセンター：1

### 《EA21責任者 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先》

環境管理責任者 取締役 管理本部長 岡部 三裕

事務局長 総務人事部 部長 森分 昭男

担当者 総務人事部 OM推進課 川田 一人

連絡先 電話 03-3816-8123

FAX 03-3816-8144

URL : <http://www.tokyo-subaru.co.jp/>

# 1. 組織の概要

[山梨地区]

会社名 山梨スバル自動車株式会社

所在地 山梨県甲府市富士見1-4-30

代表者氏名 森田 司

設立日 1986年3月1日

事業内容 1. 自動車の販売

2. 中古自動車の販売

3. 前各号に関する部品・用品の販売および修理

4. 自動車の修理

5. 損害保険代理業および自動車損害賠償保険代理業



事業規模・売上高	3,821百万円	(2024年度)
・新車販売台数	717台	(2024年度)
・中古車販売台数	661台	(2024年度)
・従業員数(派遣・パート等含む)	72名	(2025年3月現在)
・店舗数	新車直販: 3 新車業販: 1 中古車直販(業販): 1	

《EA21責任者 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先》

統括責任者 代表取締役社長 森田 司

実行責任者 サービス部品部サービス課 課長 伊藤 真哉

連絡先 電話 055-253-3060

FAX 055-253-2872

URL: <https://www.yamanashi-subaru.co.jp/>

## 2. 対象範囲（事業所一覧・推進体制・役割・責任及び権限）

### （1）事業所一覧

#### 認証登録対象店舗一覧

ブロック	事業所名	郵便番号	住所	連絡先	電話番号	FAX番号	面積 (㎡)		工場 資格	組織区分	
							敷地	延床			
本社	1 本社	113-8471	東京都文京区本郷2-13-11	森分 昭男	03-3816-8123	03-3816-8144	1109.3	2548.9	-	A	
営業第一 ブロック	2 小松川店	132-0021	東京都江戸川区中央4-22-19	堀 文嘉	03-3654-1151	03-3654-1157	1949.3	2626.8	指定	C	
	3 墨田店 墨田業販センター	131-0032	東京都墨田区東向島5-1-16	四方 智之	03-3619-4626 03-3613-7125	03-3619-7980 03-3617-4950	2318.3	2494.2	指定 -	C	
	4 江東店	135-0016	東京都江東区東陽5-31-23	高橋 昭夫	03-3645-3356	03-3645-7138	1126.6	2722.3	指定	C	
	5 本郷店	113-8471	東京都文京区本郷2-13-11	齋藤 正士	03-3816-4171	03-3815-2090	本社併設	4133.5	指定	C	
	6 竹の塚店	121-0813	東京都足立区六月1-24-19	樋口 和弘	03-3860-8255	03-3860-9945	1884.1	2636.3	指定	A	
	7 足立店	123-0864	東京都足立区鹿浜1-9-16	羽深 勝志	03-3899-1710	03-3899-8010	2851.9	2374.3	指定	C	
	8 高島平店 高島平 B P ファクトリー 高島平業販センター	174-0043	東京都板橋区坂下2-29-13	中村 祐紀	03-3966-3271 03-3966-3222 03-6811-6006	03-3967-5186 03-3966-3215 03-6811-6007	3005.5	3015.4	指定 - -	D	
	9 板橋店	174-0072	東京都板橋区南常盤台1-9-5	小笠原 正則	03-3972-1555	03-3972-1589	940.5	630.1	指定	C	
	10 赤羽パーツセンター	115-0052	東京都北区赤羽北1-22-8	岡田 哲夫	03-5993-2011	03-5993-1100	2027.4	4035.4	-	A	
	営業第二 ブロック	11 中野店	165-0023	東京都中野区江原町3-5-3	坂井 純	03-3953-0131	03-3953-0135	1180.8	908.4	指定	C
12 練馬店 ※仮店舗		177-0081	東京都練馬区北町3-1-5	小夏 隆博	03-6913-0790	03-3550-6500	1645.3	794.1	-	A	
13 新宿店		160-0023	東京都新宿区西新宿4-38-7	林 大介	03-3376-5161	03-3376-5166	409.9	1053.9	指定	C	
14 浜田山店		168-0065	東京都杉並区浜田山4-15-3	篠原 宗司	03-3312-6361	03-3315-8663	1568.9	1778.9	指定	C	
15 杉並店		167-0034	東京都杉並区桃井4-5-6	諸橋 邦雄	03-6811-6001	03-3399-0860	752.4	1852.6	指定	C	
15 三鷹店 三鷹業販センター		181-0015	東京都三鷹市大沢3-9-6	須永 良一	0422-32-3181 0422-26-3010	0422-32-3185 0422-32-3195	8638.1	7685.5 0.0	指定 -	C A	
17 田無店		188-0011	東京都西東京市田無町1-2-10	野口 亮吉	042-462-6791	042-462-6730	2125.8	2396.9	指定	C	
18 東村山店		189-0002	東京都東村山市青葉町3-2-1	伊藤 賢彦	042-397-8581	042-397-8691	2029.8	1757.4	指定	C	
営業第三 ブロック	19 恵比寿店	150-0013	東京都渋谷区恵比寿1-20-8	酒寄 晃	03-6447-7581	03-3447-1470	465.2	803.0	指定	C	
	20 城南店	142-0051	東京都品川区平塚2-6-13	市川 穂	03-3786-0311	03-3786-8940	258.5	927.6	指定	C	
	21 大田店	146-0093	東京都大田区矢口3-8-11	星野 正樹	03-3757-4501	03-3757-4508	1656.5	2839.9	指定	C	
	22 砧店	157-0073	東京都世田谷区砧2-11-2	石崎 州記	03-3749-7431	03-3749-7443	409.9	909.1	-	C	
	23 世田谷店	156-0053	東京都世田谷区桜3-7-17	千電 康平	03-3428-7211	03-3426-5611	1220.9	2959.0	指定	C	
	24 環七野沢店	154-0003	東京都世田谷区野沢3-40-1	芦田 康志	03-6805-5030	03-3487-7551	1227.7	1896.5	指定	C	
	25 調布店	182-0015	東京都調布市八雲台1-10-2	石崎 裕一	042-485-1100	042-485-1130	2102.2	1813.6	指定	C	
	26 府中店	183-0011	東京都府中市白糸台1-54	渡邊 順也	042-365-2111	042-365-1398	2468.7	2873.8	指定	C	
	27 羽田 B P ファクトリー	144-0033	東京都大田区東糀谷5-1-12	河野 邦一	03-3742-1171	03-3742-1178	800.7	1676.7	認証	E	
営業第四 ブロック	28 国分寺店	185-0001	東京都国分寺市北町1-1-10	山野井 琢也	042-322-3615	042-325-5543	4069.1	1070.1	指定	C	
	29 立川店(含仮貸付課) 立川業販センター G-PARK立川 立川中古車センター 立川 B P ファクトリー 立川重整備センター	190-0013	東京都立川市富士見町7-37-25	杉本 一行	042-524-1301 042-521-1951 042-522-0235 042-522-0231 042-524-1303 042-521-6022	042-524-1305 042-521-1955 042-522-0236 042-522-0230 042-524-1337 042-527-5320	10905.5	13663.4	指定 - - - - -	D	
	30 多摩店	206-0011	東京都多摩市関戸6-4-20	龍崎 勝也	042-337-1141	042-337-1144	1686.0	519.3	指定	C	
	31 町田店	194-0023	東京都町田市旭町2-14-11	柴田 晋	042-722-0211	042-722-0216	2844.3	1458.8	指定	C	
	32 南大沢店	192-0362	東京都八王子市松木73-9	高橋 章	042-675-8111	042-675-8666	2457.9	493.9	指定	C	
	33 大和田店	192-0045	東京都八王子市大和田町2-16-24	木村 知誠	042-642-7730	042-642-2811	1963.9	2150.8	指定	C	
	34 高尾店	193-0941	東京都八王子市狭間町1455-8	佐藤 和寿	042-666-7111	042-666-7118	1950.8	697.2	指定	C	
	35 青梅店 G-PARK青梅	198-0024	東京都青梅市新町9-2010	江連 孝一	0428-32-1117 0428-32-2531	0428-32-1118 0428-32-2721	5849.6	1406.1	指定 -	C	
	中古車 ブロック	36 カースト小松川	132-0021	東京都江戸川区中央3-6-5	坪 真悟	03-3654-3254	03-5607-6440	1322.3	118.7	-	B
		37 G-PARK西新井	121-0824	東京都足立区西伊興1-17-8	安藤 一久	03-3856-2300	03-3856-2341	1458.2	566.3	認証	C
		38 カースト小豆沢	174-0051	東京都板橋区小豆沢1-18-8	守屋 玄一	03-5392-2733	03-5392-2750	1906.1	1010.9	認証	C
39 G-PARK三鷹		181-0015	東京都三鷹市大沢3-9-1	岩橋 太一朗	0422-26-0222	0422-26-0224	6371.3	172.2	-	B	
山梨 ブロック	40 本社 甲府店 甲府業販センター カースト甲府	400-0027	山梨県甲府市富士見1-4-30	【本社】 伊藤 真哉 【甲府店】 高橋 俊晴	055-253-3060 055-253-2813 055-253-3060 055-251-7001	055-253-2872 055-253-5513 055-253-2872 055-253-2873	9,553.7	2,267.8	- 指定 -	C	
	41 峡南店	400-0412	山梨県南アルプス市東南湖字横川885	大石 卓也	055-282-4020	055-282-4048	1,355.4	925.6	指定	C	
	42 富士吉田店	401-0301	山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-90	堀内 大輔	0555-30-0200	0555-30-0044	1,573.6	952.1	指定	C	

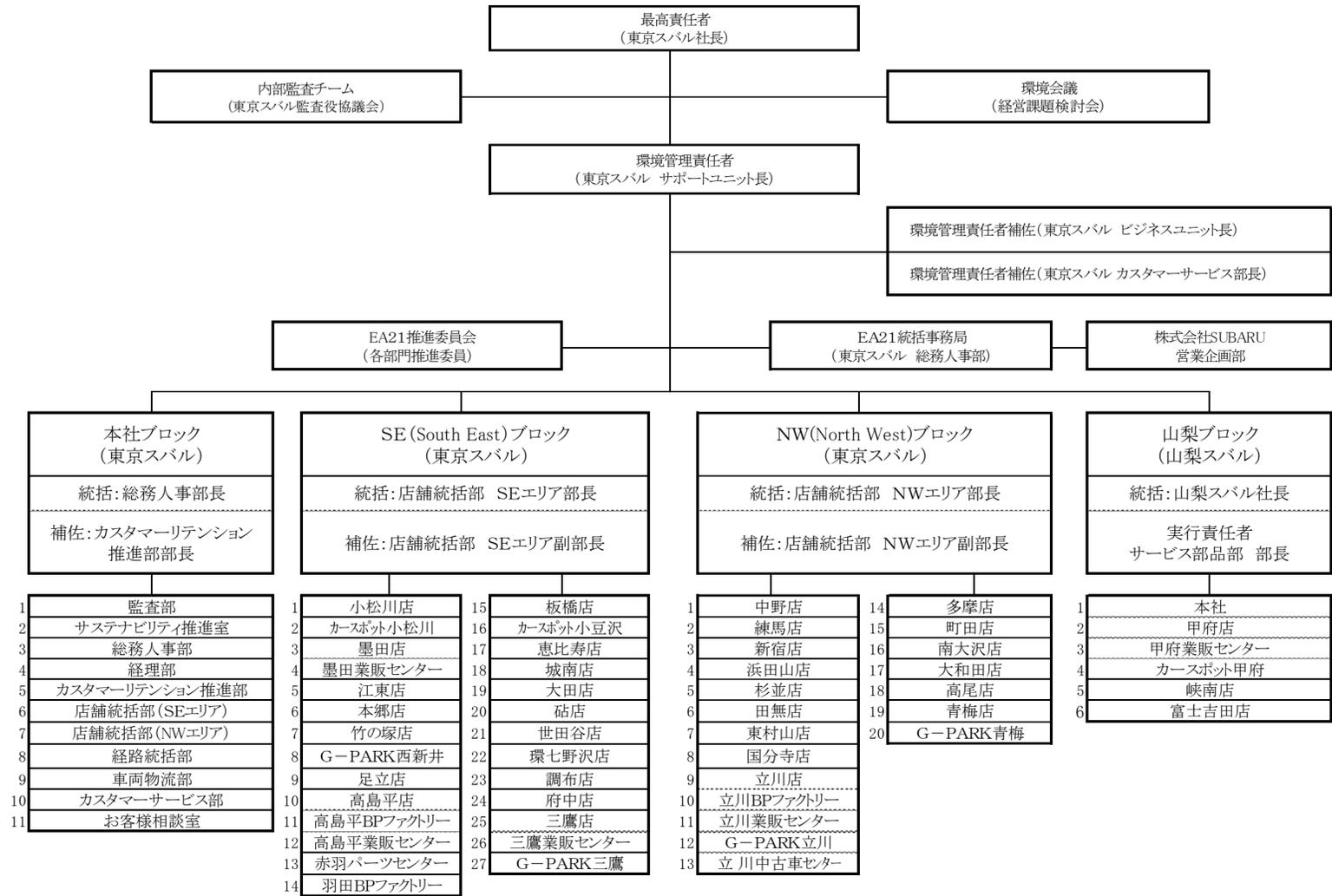
#### 組織区分表

A	オフィス業務（事務所業務）
B	オフィス業務+自動車販売（新車、中古車）
C	オフィス業務+自動車販売（新車、中古車）+整備業務
D	オフィス業務+自動車販売（新車、中古車）+整備業務+钣金塗装
E	オフィス業務+整備業務+钣金塗装

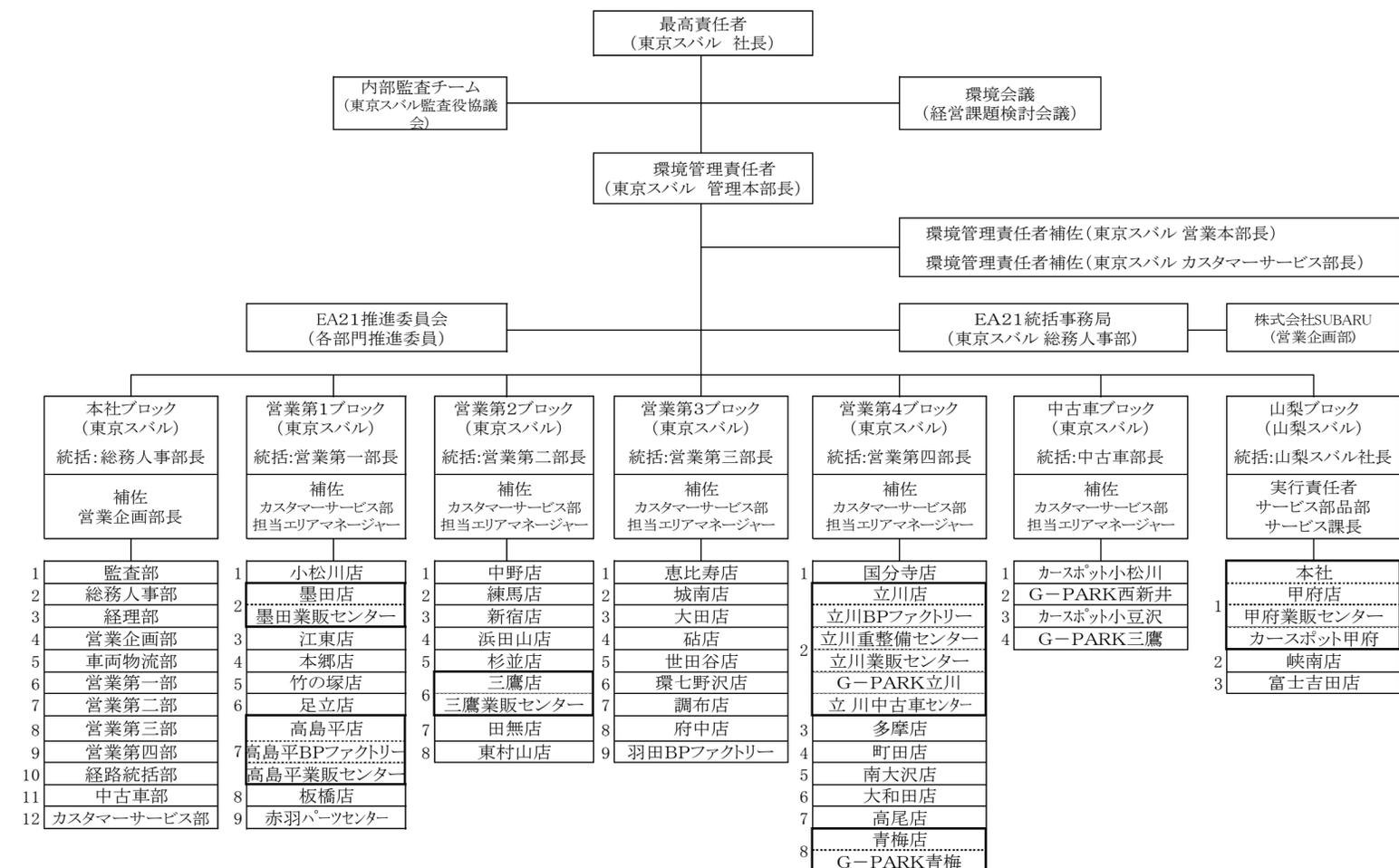
## 2. 対象範囲（事業所一覧・推進体制・役割・責任及び権限）

### （2）推進体制

2024年度 対象期間：2024年4月1日～2024年4月30日（4月度）



2024年度 対象期間：2024年5月1日～2025年3月31日



## 2. 対象範囲（事業所一覧・推進体制・役割・責任及び権限）

### （3）役割・責任及び権限

担当者、会議体	役割、責任及び権限
社長 （代表取締役社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステム（EMS）執行の最高責任者</li> <li>環境経営方針を定める。また必要に応じ見直す</li> <li>経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 明確化は事業内容、事業を取り巻く状況、事業と環境との関わりを考慮する</li> <li>EMSの見直し（マネジメントレビュー）を行う</li> <li>要員（人材）、設備、資金等の資源を経営上対応可能な範囲で用意する</li> <li>環境管理責任者を任命する</li> </ul>
環境管理責任者 （管理本部長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業の業務とは関わりなく、EMSを確立・実施・維持する責任と権限を有する</li> <li>環境経営方針に沿って全社環境経営目標（中期と単年度）を策定する</li> <li>「環境関連法規等順守状況チェック結果」を作成し、最新状態を維持する</li> <li>緊急事態の訓練を計画し推進する（実施は該当する各店舗）</li> <li>環境に関する行政機関対応の責任者（法規制対応も含む）</li> <li>マネジメントレビューの報告情報を取り纏め報告する</li> <li>環境に係わる教育訓練を推進する</li> <li>外部からの環境苦情対応の責任者</li> </ul>
EA21統括事務局 （事務局長：総務人事部長） ・総務人事部 ・山梨実行責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、EMSの確立・実施・維持全般に関する事務局業務を行う</li> <li>環境マニュアル・手順書・帳票等の見直し、最新版管理</li> <li>各部門、各店舗との調整、情報の伝達</li> <li>全社EMSの進捗管理、審査対応窓口（外部との調整を含む）</li> <li>マネジメントレビューの情報収集・整理</li> <li>株式会社SUBARU環境担当部署との窓口</li> </ul>
ブロック長 （各部門長） ※山梨ブロックは山梨スバル社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業の業務とは関わりなく店舗のEMS確立・実施状況を確認、目標達成責任と権限を有する</li> <li>店舗巡回時において各店舗の目標進捗具合、取組状況、コンプライアンス等を確認する</li> </ul>
店舗責任者 （店長） ※併設店舗では直販店長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業の業務と同様、EMSを確立・実施・維持し目標達成の責任と権限を有する</li> <li>環境マニュアル、手順書、帳票等の文書を管理する</li> <li>緊急事態を想定し訓練を計画し実行する</li> <li>特定業務従事者（サービス課長または钣金課長）と共に環境関連法規制を把握し、コンプライアンスに努める</li> </ul>
特定業務従事者 （サービス課長、钣金課長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗に関わる環境関連法規制を把握し、法遵守に努める</li> <li>緊急事態を想定し訓練を計画し実行する（訓練レベルは最悪の状況を想定する） 廃油が流出した場合を想定した訓練を行う</li> </ul>
内部監査員 （店長、サービス課長、钣金課長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA21ガイドラインの適合性と有効性の確認、目標の達成状況や評価、是正処置等の確認も行い、店舗のPDCAが回っているかを視点に置き、他店舗の監査を実施し、問題点等指導に努め、優れている取組みがある場合は自店舗へ展開する</li> </ul>
店舗推進委員 ・チーフメカニック ・環境マイスター認定取得者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗責任者を補佐し、自部署の環境活動を指導し推進する</li> <li>必要な場合は、店舗推進委員の元に補助者を置くことが出来る</li> </ul>
一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境経営方針、環境経営目標、環境活動実施計画書に基づいて日常の環境活動に取り組む</li> </ul>
マネジメントレビュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：社長</li> <li>構成員：社長、営業本部長、管理本部長（環境管理責任者）、常勤監査役、総務人事部長（事務局長）</li> <li>目的：EMSを規定した通り適切に運用しているか、有効に機能しているか、目標の達成状況、問題点の明確化と改善の方向を示す</li> <li>開催頻度：経営会議の場を利用して行う 1回/年（年度毎）</li> <li>記録の有無：記録を残す（「マネジメントレビュー議事録」）</li> </ul>
環境会議 （経営課題検討会メンバー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：社長</li> <li>構成員：社長、営業本部長、管理本部長（環境管理責任者）、常勤監査役、その他経営課題検討会メンバー</li> <li>目的：環境活動に関する重要な課題がある場合には、経営会議内で議論する</li> <li>開催頻度：不定期（環境に関する重要な課題が発生した場合）</li> <li>記録の有無：記録を残す</li> </ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：環境管理責任者（総務人事部長）</li> <li>構成員：環境管理責任者、統括事務局、各店舗推進委員</li> <li>目的：環境活動の推進、情報伝達、意見交換等</li> <li>開催頻度：随時</li> <li>記録：記録を残す（統括事務局作成）</li> </ul>

## 3. 環境経営方針

東京・山梨スバルグループ



### 環境経営方針

#### 《基本理念》

東京スバル株式会社および山梨スバル自動車株式会社を含めた東京・山梨スバルグループは、事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響のことを常に考え、全社員が自主的に業務の効率化に向けた行動により、地球環境への負荷を低減し、地球に優しい環境が持続出来るように経営のあらゆる面で環境に配慮して行動します。

#### 《基本方針》

この理念のもと、当社が行なう自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 全社の全部門において、業務の改善・効率化を図り、省エネルギー（CO2削減含）、省資源、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行ないます。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営目標への達成に向けた取組み（環境マネジメントシステム）と環境経営目標への実績（環境パフォーマンス）の評価・見直しを継続的に推進します。
3. 適用する環境関連法規制・条例を良く理解し、その他当社が同意する要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境経営目標を設定し取組み、必要に応じて改善を行ないます。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減
  - ② 廃棄物排出量の削減
  - ③ 水使用量の削減
  - ④ 化学物質使用量の削減
  - ⑤ 当社が販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
5. この環境経営方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

制定日 2008年 7月1日

改定日 2024年 4月1日

エコアクション21

東京・山梨スバルグループ

東京スバル株式会社

代表取締役社長 宮澤 和彦

## 4. 環境経営目標（中期計画、環境負荷の実績状況）

当社は日常業務において使用する環境への負荷が大きいと考えられるエネルギーの把握をし、取りまとめ、削減活動に重点をおくと同時に省資源（リサイクル・再資源化への推進）を考えて積極的に行います。

二酸化炭素排出量削減に取り組む項目	使用用途
①電気使用量	空調設備、照明機器、サービス工場用コンプレッサー、その他
②都市ガス使用量	空調設備、給湯器など
③プロパンガス(LPG)使用量	空調設備、給湯器など
④ガソリン使用量	社用車ならびに試乗車、販売セールスの借上車など
⑤軽油使用量	車両積載車、部品配送車など
⑥灯油使用量	部品洗浄機、暖房器具など

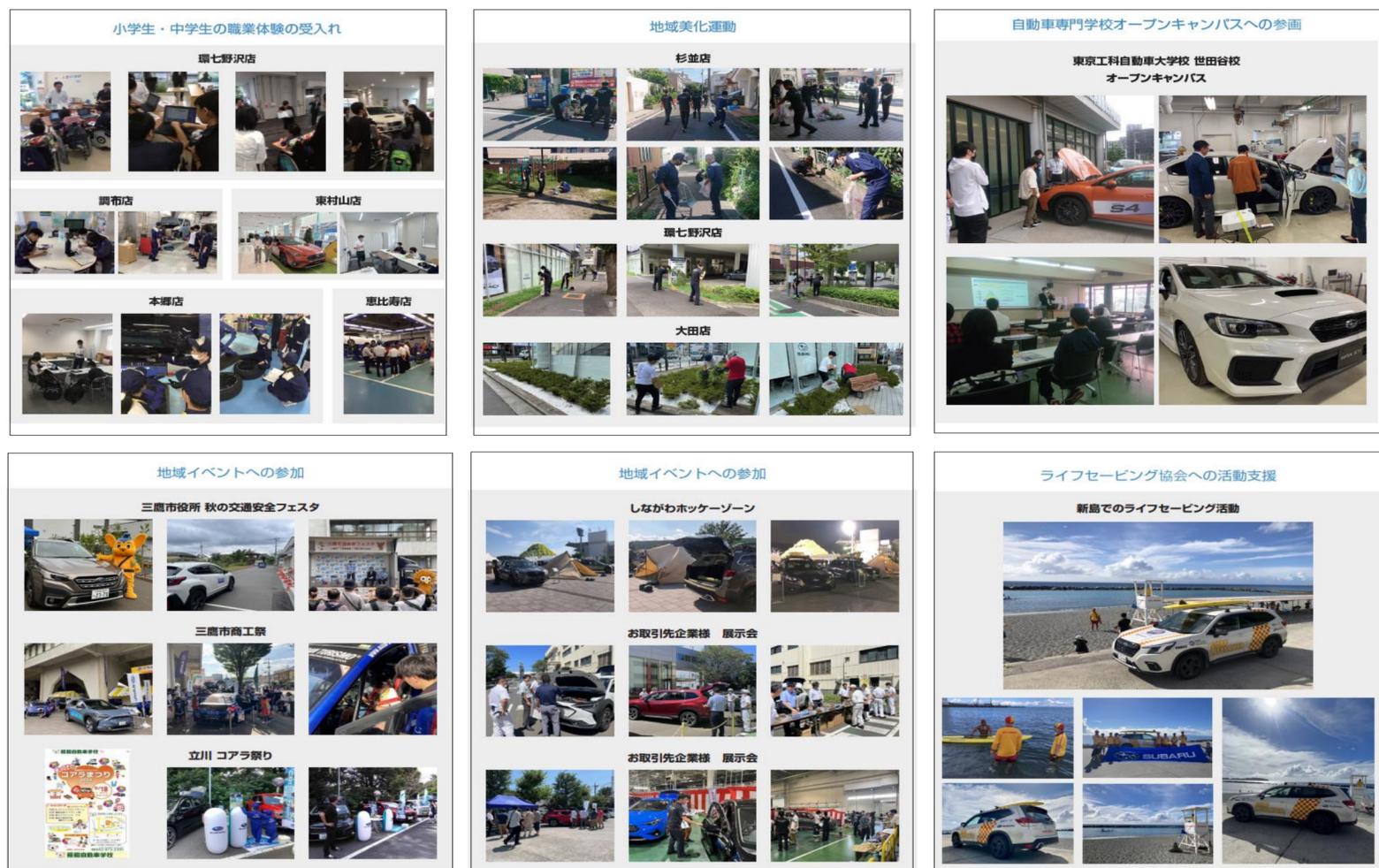
省資源に取り組む項目	使用用途
①廃棄物排出量	産業廃棄物、事業系一般廃棄物、その他
②水使用量	水道水の使用（主に洗車作業ならびに手洗いなど）

### ＜東京・山梨スバルグループ 2024年度中期環境経営目標＞

取組項目	単位	基準値 (2022年度)	2022年度実績値を現状維持			
			2024年度	2025年度	2026年度	
電気使用量	kWh	5,930,647	5,930,647	5,930,647	5,930,647	
燃料	ガソリン	L	565,876	565,876	565,876	565,876
	灯油	L	7,115	7,115	7,115	7,115
	軽油	L	53,887	53,887	53,887	53,887
	プロパンガス	m3	1,202.0	1,202.0	1,202.0	1,202.0
	都市ガス	m3	337,899	337,899	337,899	337,899
水使用量	m3	41,495	41,495	41,495	41,495	
産業廃棄物	t	937.94	937.94	937.94	937.94	
<b>二酸化炭素排出量</b>	<b>kg-CO2</b>	<b>2,479,481</b>	<b>2,479,481</b>	<b>2,479,481</b>	<b>2,479,481</b>	

2024年度の中期環境経営目標計画では、基準年度を2022年度に定めて現状維持に取り組めます

環境負荷低減の他、地域とのつながり活性化に向けて、交流活動やパートナーシップ活動も行っております



## 4. 環境経営目標（中期計画、環境負荷の実績状況）

2024年度（期間：2024年4月1日～2025年3月31日）の数値実績に用いた係数・数値

項目	電気	ガソリン	灯油	軽油	LPG	都市ガス
単位	kg-CO2/kWh	kg-CO2/L	kg-CO2/L	kg-CO2/L	kg-CO2/kg	kg-CO2/m <sup>3</sup>
排出係数	下記の表	2.32	2.49	2.58	3.00	2.16

※実績・・・電気の排出係数は、2020年度実績の排出係数で作成しております。

※目標・・・毎年変動するため、目標値は2018年度の排出係数で統一しております。

※電気の値は、電気事業者の調整後排出係数を用いており、本来は「t-CO2/kWh」ですが、「kg-CO2/kWh」としているため、1000を乗じております。

※ガソリン、灯油、軽油、LPG、都市ガスの値は、それぞれの（「炭素排出係数」×「単位発熱量」×44/12）で算出しております。

二酸化炭素の分子量は44、炭素の分子量は12となります。

電気事業社名	出光興産 プレミアムグリーンプラス ※山梨スバルは全社導入	東京電力EP グリーンベーシックプラン ※三鷹店、恵比寿店	東京電力EP (CO2排出電力) ※城南店、砧店	CO2フリー 電力導入率
東京スバル	0.000	0.000	0.431	98.4%
山梨スバル		—	—	100.0%

※2025年度より東京ガスへ変更

判定基準	達成	ほぼ達成	未達成
判定表示	○	△	×
達成・未達成の判定基準値	～99%	100%～114%	115%以上

### <東京・山梨スバルグループ合計実績>

項目	単位	基準値 2022年度	2024年度の環境負荷の状況			
			目標削減率	実績（結果）	差異	削減率&判定
電気使用量	kWh	5,930,647		6,201,189	270,542	104.6% △
燃料	ガソリン	L	565,876	524,056	-41,820	92.6% ○
	灯油	L	7,115	1,793	-5,322	25.2% ○
	軽油	L	53,887	49,523	-4,364	91.9% ○
	LPG	m <sup>3</sup>	1,202	818.0	-384	68.1% ○
	都市ガス	m <sup>3</sup>	337,899	371,455	33,556	109.9% △
水使用量	m <sup>3</sup>	41,495		37,991	-3,504	91.6% ○
産業廃棄物	t	937.94		879.76	-58	93.8% ○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,479,481		2,211,646	-267,835	89.2% ○

### <東京スバル実績>

項目	単位	基準値 2022年度	2024年度の環境負荷の状況			
			目標削減率	実績（結果）	差異	削減率&判定
電気使用量	kWh	5,574,635		5,794,812	220,177	103.9% △
燃料	ガソリン	L	532,858	494,017	-38,841	92.7% ○
	灯油 ※注1	L	5,603	38	-5,565	0.7% ○
	軽油	L	46,163	44,509	-1,654	96.4% ○
	LPG	m <sup>3</sup>	1,202	818	-384	68.1% ○
	都市ガス	m <sup>3</sup>	337,899	371,455	33,556	109.9% △
水使用量	m <sup>3</sup>	38,562		35,386	-3,176	91.8% ○
産業廃棄物	t	874.31		812.01	-62.30	92.9% ○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,343,346		2,124,648	-218,698	90.7% ○

※注1 鍍金塗装の乾燥設備更新により、灯油から都市ガスへ変更

### <山梨スバル実績>

項目	単位	基準値 2022年度	2024年度の環境負荷の状況			
			目標削減率	実績（結果）	差異	削減率&判定
電気使用量	kWh	356,012		406,377	50,365	114.1% △
燃料	ガソリン	L	33,018	30,039	-2,979	91.0% ○
	灯油	L	1,512	1,755	243	116.1% ×
	軽油	L	7,724	5,014	-2,710	64.9% ○
	LPG	m <sup>3</sup>	0.0	0	0	0.0% —
	都市ガス	m <sup>3</sup>	0.0	0	0	0.0% —
水使用量（地下水含）	m <sup>3</sup>	2,933		2,605	-328	88.8% ○
産業廃棄物	t	63.63		67.76	4.13	106.5% ○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	136,135		86,998	-49,137	63.9% ○

## 5. 環境経営計画の取組内容、行動評価

環境経営計画	取組内容	評価
本業による環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の「仕事のやり方を変えて実力を上げる」取組を一部改定、『仕事のやり方を変えて、「もっといいお店づくり」、「人財育成」を促進(強化)』する取組を行う。</li> <li>具体的に、どうやって仕事のやり方を変えて、残業を減らしていくのかを考えて行動する。</li> <li>その結果、エネルギーの削減、社員の健康管理に繋げていく。</li> <li>従来の重点取組のひとつである「健康」、「安全」、「品質」、「コンプライアンス」を継続。</li> </ul>	○
電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2 排出ゼロを目標に電力会社または電力メニューの変更を検討</li> <li>冷暖房の室温管理（夏季28℃、冬季20℃を目安）</li> <li>※ショールーム等、お客様目線で不快とならぬように配慮する</li> <li>クールビズの実施（5月～10月）※気候状況により変更の場合あり</li> <li>仕事の効率を常に考え、就業時間内に業務を終わらせる意識付け</li> </ul>	○
燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>新車納整センターでガソリンを給油後、店舗へ出荷（店舗の給油量低減を図る）</li> <li>ハイブリッド空調機器への更新（電気とガスを効率良く使用する）</li> <li>来店型店舗移行で給油量の低減を目指す。イベントの企画・提案（DM、SNS活用）</li> <li>アイドリングストップおよびエコドライブ継続的な取組を実施</li> </ul>	○
水道使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水・節電型門型自動車洗車機の優先導入</li> <li>車体下部洗浄機を導入し、洗浄時間を均一して節水効率を図る</li> <li>オフィス業務での節水活動と手洗い洗車時の節水配慮</li> <li>外注先へ節水活動への協力を依頼する</li> <li>無料洗車サービスの低減（簡易撥水ボディコーティング「NEX」プラスへご提案）</li> </ul>	○
廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物適正処理管理士3級資格取得(コンプライアンス順守と基礎知識習得)</li> <li>再生資源化への取組（継続）</li> <li>金属くず、廃油、廃タイヤ、廃バッテリー、廃ダンボール、雑誌・カタログ類など</li> <li>業務用シュレッダーを全社設置、再資源化を促進（古紙専門業者へ引き渡す）</li> <li>修理で発生する高額な交換部品は、リユースパーツ等を説明しお客様へ提案</li> </ul>	○
化学物質使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員の安全を優先に水性塗料100%の導入計画を行う</li> <li>化学物質取扱量の把握、事故等の防止策の教育を行う</li> <li>溶剤を取扱う社員への特殊健康診断実施を漏れなく実施する</li> <li>法規制および届出の順守</li> </ul>	○
紙(コピー紙)削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝票類の印刷ミスや修正作業を減らす、コピー枚数削減と裏紙を再利用する等</li> <li>コピー用紙を発注する際は、必要以上に注文をしない（適正な在庫の管理を行う）</li> <li>セールスにタブレットを貸与、資料確認等を活用し、印刷物低減と業務効率改善</li> <li>紙申請書類を電子申請システムへ移行し、ペーパーレス化を進める</li> <li>社内のメールをうまく活用して、印刷物を減らす</li> </ul>	○
社会貢献活動推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本ライフセービング協会、東京都ライフセービング協会にライフセーバーカーを支援</li> <li>富士山をきれいにする会の前期ならびに後期クリーン作戦へ参加</li> <li>ビーチクリーン活動への参加</li> <li>職場体験や職場見学の受入れ</li> <li>東京都自動車整備振興会主催の新型車を対象としたディーラー別研修会の参加</li> </ul>	○

## 6. 環境経営計画の取組結果、次年度の取組内容

環境経営計画	取組結果	次年度の取組内容
本業による環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスはほぼ予約制となっており、一日の仕事量の把握、管理が行えてきた感じを受けた。</li> <li>・店舗毎に取り組みの差があり、エネルギーが削減した店舗、増加した店舗が分かれている。</li> <li>・従来の重点取組のひとつである「健康」、「安全」、「品質」、「コンプライアンス」に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約制の中、急な仕事が発生した場合、対応ができるように体制を整える</li> <li>・仕事のやり方を変えてレベルアップしているのか、本当に出来ているのが課題。</li> <li>・我々は1台でも多く販売していくことが大事</li> <li>・最終的に営業利益に繋がる行動を目指す</li> </ul>
電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標を概ね達成（104.6%）</li> <li>・恵比寿店の電力メニューをCO2排出ゼロに変更</li> <li>・山梨は全社CO2ゼロ、東京は残り2店舗のみ。</li> <li>・室温管理実施（夏季28℃、冬季20℃目安）</li> <li>・クールビズの実施（5月～10月）</li> <li>・就業時間内に仕事を終わらせる時間管理定着化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京の2店舗はテナント契約であるが、引き続き管理会社へ環境へのご理解を求めてCO2排出ゼロ電力採用の依頼を続けていく</li> <li>・室温管理、クールビズは毎年実施して使用量抑制に貢献していく</li> </ul>
燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標を達成（都市ガスはほぼ達成）</li> <li>・高島平店、立川店へハイブリッド空調更新を実施</li> <li>・アイドリングストップおよびエコドライブの継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来店型店舗への移行を進める</li> <li>・空調更新時はハイブリッド空調を検討</li> <li>・外出の際は無駄のないルートを考えて使用量の低減を心掛ける（継続）</li> </ul>
水道使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標を達成（91.6%）</li> <li>・節水・節電型門型自動車洗車機の更新実施</li> <li>・車体下部洗浄機にて節水を実施</li> <li>・外注先への節水活動協力を実施</li> <li>・手洗い洗車時の節水活動の継続</li> <li>・無料洗車サービスの低減、使用量目標を達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も取組を継続して水資源の抑制に貢献していく</li> </ul>
廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標を達成（92.3%）</li> <li>・産業廃棄物適正処理管理士3級資格の合格（東京：86名、山梨：11名）</li> <li>・業務用シュレッダーを全社導入し、シュレッダー屑は古紙専門業者へ回収し、再資源化を図った</li> <li>・リユースパーツの説明と提案を継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国スバルグループで行っている産業廃棄物適正処理管理士3級資格取得者を増やしていく</li> <li>・再生資源化の継続取組</li> <li>・リユースパーツの提案継続</li> </ul>
化学物質使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の導入率は約90%の推移であった</li> <li>・塗装表面のクリアー塗装100%水性化は仕上がりや耐久性等で厳しい状況</li> <li>・事故等の防止策の教育を定期的に実施</li> <li>・特殊健康診断の受診対象者は100%実施</li> <li>・法規制順守および各種届出全数実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリアー塗装の水性化については、塗料メーカーや他特約店からの情報を収集し100%実現化に向けて検討する</li> <li>・法規制順守と届出は洩れなく実施する</li> </ul>
紙(コピー紙)削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証取得時からの裏書再利用の取組継続</li> <li>・コピー用紙を発注する際は在庫を確認した</li> <li>・電子申請システムへ新規申請書を追加</li> <li>・社内メール、イントラを活用して印刷物を減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内のメールやイントラの利用環境は整えたがまだまだ利用しない者がおり、IT関連に強くなれるように教育を進める</li> <li>・電子申請システムの利用拡大を図る</li> </ul>
社会貢献活動推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフセービング協会へライフセーバーカー2台支援</li> <li>・富士山をきれいにする会の前期・後期の参加</li> <li>・ビーチクリーン活動への参加</li> <li>・職場体験の受入れ</li> <li>・東京都自動車整備振興会主催の新型車を対象としたディーラー別研修会の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフセーバーカー2台支援の継続</li> <li>・富士山をきれいにする会の継続</li> <li>・ビーチクリーン活動の継続</li> <li>・職場体験の受入れ継続</li> <li>・ディーラー別研修会の継続</li> <li>・高尾山 森林保全活動新規参加</li> </ul>

## 7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

### (1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	要求事項	東京スバル	山梨スバル
エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）	・定期報告書、中長期計画書の届出、エネルギー削減義務 ・エネルギー管理講習の受講及び終了証の取得	○	
水質汚濁防止法	特定施設の届出、事故時に公共用水域へ油を含む水、または生活環境規制基準を超える水を排出(流出)しない	○	○
下水道法	特定施設の届出、排水施設の設置義務	○	○
浄化槽法	設置の届出、定期的な保守点検及び清掃と水質検査		○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約、廃棄物の表示及び保管管理、マニフェストの適正運用管理、マニフェスト交付状況年度報告	○	○
消防法	・少量危険物貯蔵所の届出と油脂類の適正管理 ・防火管理者の資格と届出、防火訓練を行う	○	○
労働安全衛生法	安全衛生委員会の設置、健康障害防止措置と社内教育 化学物質を扱う社員の特殊検診の実施と作業環境測定等	○	○
騒音規制法	・特定施設の届出（基準を超える空気圧縮機等） ・指定地域内の事業場等に特定施設を設置する場合、設置工事開始の30日前までに市町村長に届出ること	○	○
振動規制法	・特定施設の届出（基準を超える空気圧縮機等） ・指定地域内の事業場等に特定施設を設置する場合、設置工事開始の30日前までに市町村長に届出ること	○	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	定められた基準(床面積)を超える建築物の新築または増築、解体工事を行なう場合、建設発注者は7日前に知事へ届出を行う	○	○
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	該当化学物質の年間排出量・移動量の把握（対象物質が基準値以上の場合報告）	○	○
P C B 廃棄物特措法（PCB=ポリ塩化ビフェニル）	・特別管理産業廃棄物管理者取得および届出 ・蛍光灯器具の安定器にPCBが含まれているか調査を行う 調査完了後、適正な処理と保管および処分を行う	○	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	・第一種特定製品の簡易点検ならびに法令点検(定期点検)の実施 ・点検や修理をしないまま充填を繰り返すこと(繰り返し充填)の禁止 ・一定量以上のフロンの漏えいがある場合、算出されたフロンの漏えい量を所管する大臣に報告	○	○
使用済み自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	引取事業者の登録、使用済み自動車の適正処理	○	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	対象機器の再商品化等が確実に実施されるよう小売業者等に適切に引き渡す、収集・再商品化等に関する料金(リサイクル料金)を支払う	○	○
東京都及び山梨県の環境に関する条例（環境確保条例）	・工場設置認可届出 ・適正管理化学物質の使用量等報告 ・特別管理産業廃棄物管理者の選任と届出	○	○
東京都及び山梨県の廃棄物条例	廃棄物の発生抑制、再利用の促進と再資源化に向けた取組み、適正な処理、事業系廃棄物の減量等	○	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	自動車等のアイドリングストップ（駐車場に励行の表示を行う）	○	
山梨県生活環境の保全に関する条例施行規則	・有害物質を含む汚水の地下浸透禁止 ・排出される水による水質の汚濁を防止するように努める ・自動車等のアイドリングストップ（駐車場に励行の表示を行う）		○

### (2) 違反、訴訟等

両社における環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

## 8. 経営における課題とチャンス 代表者による全体の評価と見直し

### 経営における課題とチャンス

課題とチャンス	事業者の内部に起因するもの	事業者の外部に起因するもの
経営における課題 (事業上の弱み、問題点等)	次代を担う人づくり	基盤顧客(年齢層:45~55歳) の安全志向への対応
経営におけるチャンス (事業上の強み、有利な点等)	スバルリスト(顧客・社員)の存在	東京都内での立地

### 代表者による全体の評価と見直し

仕事のやり方を変えて実力を上げる、効率化と生産性向上とお客様への付加価値の提供へ取り組み、2024年度は新たに「もっといいお店づくり」と「人財育成」を促進するように取り組んだ結果、成果が表れてきたと思われるが、本当にすべて出来ているのかを確認することが次年度の課題である。

環境目標に掲げた各エネルギーは現状維持を図り、概ね達成した。二酸化炭素総排出量においては、グループ全体で89.2%と大幅に低減することが出来た。

次年度も環境経営方針の基本理念に基づいて「全社員が自主的に業務の効率化に向けた行動により、地球環境への負荷を低減し、地球に優しい環境が持続出来るように経営のあらゆる面で環境に配慮して行動していく。

最後に、我々は1台でも多く販売していくことが大事である。

事業の課題は車両代替サイクルが長期化になりつつあり、直近のデータでは10年近くになっている。

お客様が長く乗る新しい車を販売すること、定期点検などの入庫率を上げることが大事。

エンジン調整を含め、排気ガスの抑制に繋げること。車検カバー率、定期点検の入庫率を上げていくこと。

最終的に営業利益に繋げていくことが環境経営である。

## 9. 一つのいのちプロジェクトのご紹介



SUBARUは、社会への貢献を通じ、共感・共生の環を拡げる取り組みとして「一つのいのちプロジェクト」を開始。

SUBARUは、航空機メーカーのDNAを持ち「人を中心としたモノづくり」のなかで安全を最優先に考え、「いのちを守る」ことを大切にしてきました。その想いを軸に、お客様・販売店・SUBARU、そして地域社会と共に行う活動として、「一つのいのちプロジェクト」に取り組んでいきます。  
かけがえのない「ひとのいのち」、大切にしたい豊かな森の植物や生き物といった「自然のいのち」、この2つのプロジェクトテーマを掲げ、我々と同様の想いを持ち「笑顔のあふれる未来に向けて守り・繋いでいく」ために日々活動している方々を応援していきます。

このような考えのもと、SUBARUは、これまでに「水辺の事故ゼロ」を目指している日本ライフセービング協会へライフセービングカーの支援をはじめとする色々な支援活動を行っています。  
詳細については、SUBARU オフィシャルWebサイトをご確認ください。

[<SUBARUオフィシャルWebサイト「一つのいのちプロジェクト」>](https://www.subaru.jp/project/hitotsunoinochi/)

<https://www.subaru.jp/project/hitotsunoinochi/>

### 2024年度 東京・山梨スバルグループの主な活動状況

日本ライフセービング協会、東京都ライフセービング協会へライフセーバーカーを納車



## 9. 一つのいのちプロジェクトのご紹介

「富士山をきれいにする会」 富士山環境美化 後期クリーン作戦に参加

2024年8月



「富士山をきれいにする会」 富士山環境美化 後期クリーン作戦に参加

2024年9月



## 9. 一つのいのちプロジェクトのご紹介

### SUBARUグループ合同 ビーチクリーン活動に参加

2024年10月



「第50回全日本ライフセービング選手権大会」の会場である鵜沼海岸で、SUBARUチーム合同で参加しました

### 富士スバルライン パトロールカーにフォレスターを寄贈

2024年10月



## 9. 一つのいのちプロジェクトのご紹介

2024年度新入社員向け研修会で、日本ライフセービング協会様のご協力のもと、AED講習会を実施



2025年7月3日 日本ライフセービング協会、東京都ライフセービング協会へ  
支援用ライフセーバーカーをフォレスターからクロストレックへ変更して納車



# Thank You!

